

第 6 次富士宮市総合計画

前期基本計画

4つの取組を推進するための重点プロジェクト 案

取組 1 地域の魅力を活かしたにぎわいづくり

取組 2 若者や女性にも選ばれる地域づくり

取組 3 安心して健やかに暮らせる幸せづくり

取組 4 明るい未来を支える人づくり

1 地域の魅力を活かしたにぎわいづくり

世界遺産「富士山」をはじめとする地域の魅力を活用して、まちににぎわいを創り出すとともに、市民にとっても住み続けたいと感じるような魅力的なまちづくりに取り組みます。

■ ■ ■ ■ ■ ■ 主な取組 ■ ■ ■ ■ ■ ■

プロジェクト 1 市民が誇れる品格ある美しいまちを形成する

本市が有する富士山世界文化遺産の構成資産をはじめとする豊かな歴史・文化資源について、その文化的価値を高める整備を行い、市民の郷土に対する誇りと愛着を育みます。

とりわけ、富士山本宮浅間大社と白糸ノ滝周辺については、「清流の美」、「空間の美」、「庭園の美」をコンセプトに、美しく品格があり心癒される空間として整備し、市民だけでなく国内外からの多くの来訪者で賑わう拠点的な地域となるよう本市のイメージアップを図ります。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概 要	取 組
景観資源の保全と活用	富士山を中心とした自然景観を保全するとともに、貴重な史跡・歴史的建造物を含む地域の景観資源を活用します。	景観計画・景観形成事業 景観啓発事業
世界遺産富士山の継承	世界遺産の構成資産である、史跡富士山や名勝・天然記念物「白糸ノ滝」の整備を進めます。	世界遺産構成資産の環境整備事業
文化財の保存と活用	市内文化財の把握や調査研究を進め、市の魅力を掘り起こすとともに、文化財を適切な方法や環境で保存管理し、歴史・文化を後世に守り伝えていきます。	(仮称) 郷土史博物館事業
観光ブランディング戦略の構築	富士宮ならではの魅力や特徴とともに、統一的なブランドイメージやブランドメッセージを活用し、国内外からの認知度を高めます。	観光ブランディング戦略事業

地域資源を活かしたまちづくりの推進	富士山本宮浅間大社や、富士山世界遺産センターを中心に、回遊性の向上を図り、門前町としてのにぎわいと癒しを創出します。	世界遺産のまちづくり推進事業
魅力の発掘・向上によるシビックプライドの醸成	市民が市のことを知り、関心を深めるため、市の魅力や課題を広報し、市について考える機会を提供し、市に対する愛着心を育みます。	シティセールス事業 地域間交流事業 情報発信推進事業

プロジェクト2 歩いて楽しめる魅力ある中心市街地を形成する

中心市街地のにぎわい創出に向けて、その核となる施設の整備や新たな出店を支援するとともに、商店街においてイベントの開催を促す等により、歩いて楽しめる魅力的な地域を形成し、市民や来訪者による回遊を促します。

また、JR 富士宮駅周辺においては、世界遺産のまちの玄関口としてふさわしい景観とユニバーサルデザインに配慮した空間とするため、既存の施設を活かしつつ、待合所やトイレ、サインなどを新たに整備します。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概 要	取 組
花と緑のまちづくりの推進	美しい花いっぱいのまちづくり運動を通じて、市民協働による花壇づくりやフラワーポット設置などの緑化を継続し、彩りのある空間づくりを進めます。	美しい花いっぱいのまちづくり事業
水辺空間の整備	富士山からの豊かな湧水を保全・活用するため、湧水池の保全や、くつろぎや潤いを感じられる親水空間の活用を進め、湧水の魅力を発信していきます。	
受け入れ態勢の整備による誘客の促進	ホテル誘致や施設整備などを通じて、観光客がゆっくりと安心して滞在できる環境づくりに取り組みます。	宿泊施設等誘致事業
地域資源を活かしたまちづくりの推進	富士山本宮浅間大社や、富士山世界遺産センターを中心に、回遊性の向上を図り、門前町としてのにぎわいと癒しを創出します。	世界遺産のまちづくり推進事業 歩いて楽しめる市街地整備

4つの取組を推進するための重点プロジェクト

快適な道路交通環境の充実	歩行者や自転車等が快適に利用できるよう歩道や自転車の走行空間の整備を進めます。	道路新設改良事業 無電柱化推進事業 交通安全施設整備事業
--------------	---	------------------------------------

プロジェクト3 自然を守り活用することで、地域の力を未来へつなぐ

本市の豊かな自然を守るとは、市民の暮らしを豊かにし、地域の経済と健康を守る最善の投資であり、市民が誇りを持てる自然豊かなまちを築く礎となることから、自然を守りそれを最大限活用する取組を通じて、生態系サービスを地域へ還元し、気候変動対策・防災・資源循環・健康づくりに結びつけるなど、誰も取り残さない持続可能な社会を目指します。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概 要	取 組
良好な生活環境の確保	大気汚染・水質汚濁・化学物質等の環境監視測定を継続的に実施し、必要な対策につなげることで生活環境の保全を図ります。	
生物多様性保全の推進	自然保護団体等と連携し、希少野生動植物の保全に努めるとともに、草原環境や湿原環境の保全活動を継続します。	生物多様性地域戦略 根原区火入れ事業 小田貫湿原乾燥化防止等事業
自然環境の保全と活用	自然観察会の開催などを通じて、自然とのふれあいや希少種などへの理解を深めます。	富士宮市域自然調査事業
地下水・湧水の保全と活用	観測井で地下水位の定点観測を実施するとともに、水源保全監視員等による湧水池の巡視活動を実施します。	地下水位観測事業 水源保全監視員・自然監視員による巡視事業
農林業資源の保全と活用	遊休農地の解消を図り、優良農地の整備や保全に努めるとともに、森林環境譲与税を活用し、民有林の森林整備、担い手となる人材育成、木材利用、普及啓発の事業を推進します。	遊休農地再生事業 森林環境譲与税事業

プロジェクト4 市民の日常の楽しみを創出し、地域活動の充実を図る

地域の祭りやイベント、市民活動等を通じて地域の魅力を発信し、住民同士の交流促進を図ることで、まち全体の活性化と市民の満足度向上を実現します。

また、多世代が気軽に参加できるスポーツ環境の整備や魅力的な生涯学習メニューの提供を行うことにより、市民一人ひとりが日常生活の中で新しい発見や交流を楽しめる仕組みづくりを推進します。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概 要	取 組
地域交流拠点の整備	地域の交流拠点である交流センターを核に、地域における社会教育活動や交流活動の活性化を促進します。	地域交流拠点施設整備事業
各種コミュニティ団体への活動支援	自治会活動の活性化を支援するとともに、自治会長に対する研修会等の開催を通じ自治会の連携・強化を図るとともに、幅広い世代が自治会活動に関わることを促進します。	自治会 I C T 化促進事業
多文化共生社会の醸成	外国人市民が地域の行事や活動に積極的に参加できる地域づくりを進めるため、やさしい日本語の普及啓発や日本語学習支援を充実させ、相互理解できる環境づくりを進めます。	多文化共生社会の推進事業 国際理解推進事業 多言語対応の充実
文化芸術活動の活性化	市民が気軽に芸術に触れたり、創作・表現活動できる機会を創出するとともに、文化芸術活動に取り組む市民や団体などを支援します。	
スポーツに親しむ環境づくりの推進	一人ひとりの体力や好みに合わせて選択できるスポーツ教室やスポーツイベントの充実を図ります。	スポーツ交流事業
誰もが学び合える学習活動の推進	生涯学習活動の啓発や相談・支援を行うとともに、I C T の活用など多様な学習機会の提供や情報発信を行います。	魅力的な生涯学習メニューの提供や学びあいの推進 読書と読み聞かせ推進事業

プロジェクト5 地域と人の魅力を活かして、観光客の滞在時間を延ばす

朝霧高原と富士山本宮浅間大社周辺、芝川地区の各エリア間の回遊促進とそれを受け入れる宿泊機能の整備を図ることで、観光客がより長く、市内全体で充実した滞在を楽しめる環境整備を目指します。

また、富士山とともに歩んできた本市ならではの歴史・文化を資源として最大限活用し、市民と観光客双方が満足できる持続可能な観光振興を図ります。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概 要	取 組
世界遺産富士山の継承	世界遺産富士山の価値を伝えるため、市民、企業、関係団体等と連携を図り、展示、講座、イベント等を行います。	世界遺産のまちづくり事業
文化財の保存と活用	市内文化財の把握や調査研究を進め、市の魅力を掘り起こすとともに、文化財を適切な方法や環境で保存管理し、歴史・文化を後世に守り伝えていきます。	(仮称) 郷土史博物館事業
観光ブランディング戦略の構築	富士宮ならではの魅力や特徴をもとに、統一的なブランドイメージやブランドメッセージを活用し、国内外からの認知度を高めます。	観光ブランディング戦略事業
観光マーケティングの推進とプロモーションの強化	観光客のニーズや動向を調査・分析するとともに、観光資源創出や掘り起こし、結び付け、磨き上げを行い、観光客の誘客を図ります。	観光マーケティング事業 観光プロモーション事業
受け入れ態勢の整備による誘客の促進	ホテル誘致や施設整備などを通じて、観光客がゆっくりと安心して滞在できる環境づくりに取り組みます。	宿泊施設等誘致事業

プロジェクト6 富士宮市で暮らす魅力を再発見・再認識する

豊かな「自然」、「歴史・文化」、「食」、そしてそこで暮らす「人」の魅力といった本市ならではの魅力の創出や磨き上げ、結び付けを行い、市民がその魅力を体験・体感する機会を創出することにより、市民の本市に対する誇りや愛着を育みます。

また、様々な関連する団体等と連携しながら、本市の魅力を主体的に情報発信する仕掛けづくりを行い、市内外の多くの人たちに選ばれるまちになることを目指します。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概 要	取 組
花と緑のまちづくりの推進	美しい花いっぱいのもちづくり運動を通じて、市民協働による花壇づくりやフラワーポット設置などの緑化を継続し、彩りのある空間づくりを進めます。	美しい花いっぱいのもちづくり事業
水辺空間の整備	富士山からの豊かな湧水を保全・活用するため、湧水池の保全や、くつろぎや潤いを感じられる親水空間の活用を進め、湧水の魅力を発信していきます。	
文化財の保存と活用	市内文化財の把握や調査研究を進め、市の魅力を掘り起こすとともに、文化財を適切な方法や環境で保存管理し、歴史・文化を後世に守り伝えていきます。	(仮称) 郷土史博物館事業
戦略的なシティプロモーションの推進	市が持つ様々な魅力を市内外に広く発信し、市のイメージアップを図ります。	情報発信推進事業 ホームページ発信事業
魅力の発掘・向上によるシビックプライドの醸成	市民が市のことを知り、関心を深めるため、市の魅力や課題を広報し、市について考える機会を提供し、市に対する愛着心を育みます。	シティセールス事業 地域間交流事業 情報発信推進事業

■■■■■■ 成果指標（K P I） ■■■■■■

客観指標

指 標	基準年 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1人あたり平均観光消費額（宿泊費を除く）	4,000円	4,500円
市主催の生涯学習講座を受講した人の割合	17.9%	21.5%
する、みる、ささえるのいずれかの形でスポーツに親しんだ人の割合	アンケートで把握	アンケート後設定
富士宮市公式SNSの登録者数	54,696人	84,000人
関係人口創出数	10,992人	16,000人

主観指標

指 標	基準年 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市は賑わいがあり魅力的なまちであると思う人の割合	アンケートで把握	アンケート後設定

2 若者や女性にも選ばれる地域づくり

人口減少が進む中、市民一人ひとりが協力し合い、安心して暮らせる生活環境や希望を持てる就労環境を整え、若者や女性にも住みたいと思われるまちづくりに取り組みます。

■■■■■ 主な取組 ■■■■■

プロジェクト1 出会いをつなぎ、結婚・出産までを共に育む

結婚・出産を希望する人に、精神的な不安や経済的な負担などから結婚や出産をためらうことがないように、将来の生活に希望を持てる機会の創出と意識の醸成を図ります。

また、若者や女性が将来設計を描きやすい各ライフステージを見守る温かな社会的サポート体制を構築し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概要	取組
多様性についての理解の促進	ジェンダーギャップ解消に向けた意識改革により、男女共同参画社会を実現する基盤をつくります。	男女共同参画推進事業
若者の思いが実る環境づくり	出会いや結婚、妊娠出産を希望する若い世代を支援するとともに、こどもの誕生前から乳幼児期までの子育て中の家庭を支援します。	出会い・交流応援事業 妊娠・出産・子育てシェアサポート事業
魅力的な就労環境の創出	市内企業におけるワーク・ライフ・バランスを推進し、誰もが安心して働くことができる環境整備に努めます。	勤労者福祉事業
空き家対策の推進	空き家は今後も増加することが見込まれるため、管理不全な空き家が増えないよう、空き家の状況に応じた適切な対応を進めます。	空き家対策事業

プロジェクト2 地域が一体となって、子育てを応援する

子育てする人が孤立することなく、安心して暮らしていけるように、各種相談体制を充実するとともに、親同士や地域の支援者等と気軽に交流できる機会を創出します。

また、子育てする人が、仕事などの社会活動を行えるように、保育や放課後児童クラブ等の受入れを充実させるとともに、育児休業の取得などを積極的に促す子育て応援企業を推奨し、地域全体での子育て環境を底上げします。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概 要	取 組
地域における子育て・子育ての推進	地域における子ども・子育て支援事業の提供体制の充実を図るとともに、市民や企業などとの交流・連携を行うことにより、地域全体で子育てを行う機運を高めます。	放課後児童健全育成事業 母子健康相談・健康教育・訪問事業
保育・就学前教育の体制整備	保育園、認定こども園、小規模保育所、幼稚園等においてこどもの発達に応じた質の高い保育や教育を提供します。	就学前教育・保育施設整備事業
こどもや家庭への多角的な支援	関係機関との連携を図り、発達が気になるこどもの早期発見に努め、助言や指導を行うとともに、各種手当や給付金の支給、こども医療費の助成等により、出産や子育てに伴う家計負担の軽減を図ります。	こども医療費助成事業
育成環境の充実	家庭教育学級、地域の青少年声掛け運動、地域学校協働活動推進により、家庭と地域の教育力の向上を図るとともに、青少年相談センターでは、様々な相談に応じるため、学校や福祉部門と連携を図りながら、教育相談・体制の強化を図ります。	青少年教育相談事業 地域学校協働本部事業
魅力的な就労環境の創出	市内企業におけるワーク・ライフ・バランスを推進し、誰もが安心して働くことができる環境整備に努めます。	勤労者福祉事業 富士山SDGs人材マッチング事業
多様なニーズに対応した公園整備の推進	地域及び利用者のニーズや目的等を考慮しながら、子どもから高齢者まで幅広い世代が気軽に訪れ、心癒され、楽しめる公園づくりを進めます。	都市公園等整備事業

プロジェクト3 魅力的な仕事と多様な働き方の選択肢を提供する

優良企業の誘致や既存企業の留置、サテライトオフィスの誘致等を積極的に進め、多様な働く場の選択肢を提供することで、特に若者や女性が安心して長期的に暮らし、働き続けられる環境整備を図ります。

また、若者や女性をはじめとする全ての市民が希望に応じた仕事や働き方を市内で実現できるようにするため、市内事業所等と協力して多様な働き方の実現を目指すとともに、起業やスタートアップ支援、事業承継など、事業者の抱える様々な課題の解決に向けた伴走型支援を行います。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概 要	取 組
多様性についての理解の促進	女性の活躍の場を拡げ、働きやすく、仕事と生活のバランスがとれた、だれもが活躍できる環境をつくります。	男女共同参画推進事業
若者の思いが実る環境づくり	出会いや結婚、妊娠出産を希望する若い世代を支援するとともに、こどもの誕生前から乳幼児期までの子育て中の家庭を支援します。	出会い・交流応援事業 妊娠・出産・子育てシェアサポート事業
魅力的な就労環境の創出	市内企業におけるワーク・ライフ・バランスを推進し、誰もが安心して働くことができる環境整備に努めます。	勤労者福祉事業 富士山SDGs人材マッチング事業
地域に根差した人材の確保	将来の人材確保に向け、若い年代から働くこと・地元企業を知ってもらうことを目的に、市内の小中学生や高校生に対し企業紹介を行うなど、地元で働くことに対する機運の醸成に努めます。	U I J ターン者就業支援事業
戦略的な企業誘致・留置の推進	首都圏等にあるIT企業や先進企業等の誘致により、多種・多様な働く場の創出につなげるとともに、進出企業と市内の既存企業の交流と連携を促し、新産業及び成長産業への参入支援を図ります。	企業立地推進事業
経営課題の解決に向けた支援	事業者訪問や関係機関との連携等により、市内事業者の実態やニーズを把握し、情報提供をはじめ、事業活動への支援を積極的に行います。	中小企業総合支援事業 中小企業対策事業

生産基盤の整備促進	農地中間管理事業の活用による農地の集積・集約化を進めるとともに、森林の適正管理と木材生産の持続的な確保を図るため、基盤整備を推進します。	遊休農地再生事業 スマート農業推進事業 森林環境譲与税事業
-----------	--	-------------------------------------

プロジェクト4 若い世代に多様な住環境の選択肢を供給する

富士山をはじめとする本市の豊かな地域資源や暮らしやすい環境、住宅取得に対する優位性を生かして、若い世代のニーズや多様なライフスタイルにも柔軟に対応した住宅供給を促進し、移住・定住しやすい環境づくりを目指します。

また、若い世代の住宅取得の促進と併せて空き家の発生を抑制する取組の強化を図るため、中古住宅の安全を確保した上で流通を促すための住宅リフォームに係る助成を行います。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概 要	取 組
若者の思いが実る環境づくり	出会いや結婚、妊娠出産を希望する若い世代を支援するとともに、こどもの誕生前から乳幼児期までの子育て中の家庭を支援します。	出会い・交流応援事業 妊娠・出産・子育てシェアサポート事業
空き家対策の推進	空き家は今後も増加することが見込まれるため、管理不全な空き家が増えないよう、空き家の状況に応じた適切な対応を進めます。	空き家対策事業
移住・定住の促進	シティセールスの一環として移住定住プロモーションを地域や民間企業などと連携し、効果的に展開するとともに、移住希望者のニーズにあった支援に取り組みます。	移住・定住支援事業 シティセールス事業

プロジェクト5 地域の未来を拓くU I Jターンを促進する

市外、県外等の大学へ進学した学生が、就職時の「宮帰り（Uターン）」を選択できる取組を推進するため、キャリア教育などを通じて市内の企業と接する機会を増やすとともに、市内の企業の情報を効果的に発信します。

また、移住定住サポーターや相談窓口を充実させて、多様なニーズに対応したきめ細かな移住支援を行うなど、地方での暮らしを希望する人を受け入れるための取組を首都圏を中心に推進していきます。

（関連する主な取組）

具体的な施策	概 要	取 組
魅力的な就労環境の創出	市内企業におけるワーク・ライフ・バランスを推進し、誰もが安心して働くことができる環境整備に努めます。	勤労者福祉事業 富士山SDGs人材マッチング事業
地域に根差した人材の確保	将来の人材確保に向け、若い年代から働くこと・地元企業を知ってもらうことを目的に、市内の小中学生や高校生に対し企業紹介を行うなど、地元で働くことに対する機運の醸成に努めます。	U I J ターン者就業支援事業
空き家対策の推進	空き家は今後も増加することが見込まれるため、管理不全な空き家が増えないよう、空き家の状況に応じた適切な対応を進めます。	空き家対策事業
移住・定住の促進	シティセールスの一環として移住定住プロモーションを地域や民間企業などと連携し、効果的に展開するとともに、移住希望者のニーズにあった支援に取り組みます。	移住・定住支援事業 シティセールス事業
魅力の発掘・向上によるシビックプライドの醸成	市民が市のことを知り、関心を深めるため、市の魅力や課題を広報し、市について考える機会を提供し、市に対する愛着心を育みます。	地域間交流事業

■■■■■■■ 成果指標（K P I） ■■■■■■■■

客観指標

指 標	基準年 (令和 6 年度)	目標値 (令和 1 2 年度)
出生率（人口千人当たり）	4. 5 人	4. 5 人
空き家の除却・改修費用に掛かる補助金活用件数	2 件	5 件
移住相談窓口を利用した県外からの移住者数（累計）	1 3 4 人	7 5 0 人
製造品出荷額（※基準年：令和 4 年）	※ 7 9 7, 2 7 0 百万円	1, 0 0 0, 0 0 0 百万円
製造業の従業員数（※基準年：令和 5 年度）	※ 2 0, 4 4 5 人	2 1, 0 0 0 人
第 1 次産業総生産額（※基準年：令和 4 年度）	※ 1 1, 3 0 8 百万円	1 2, 2 0 0 百万円

主観指標

指 標	基準年 (令和 7 年度)	目標値 (令和 1 2 年度)
富士宮市は若者や女性が住みたいと思うような魅力的なまちであると思う人の割合	アンケートで把握	アンケート後設定

3 安心して健やかに暮らせる幸せづくり

予測が難しい自然災害などへの備えはもとより、医療や福祉、地域コミュニティが充実し、年齢を問わず誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

■■■■■ 主な取組 ■■■■■

プロジェクト1 地域のつながりを強化し、災害リスクに対する不安をなくす

様々な自然災害を想定し、災害時の備蓄品の確保等に努めるとともに、多様な情報伝達手段と地域住民の防災意識向上を図ることで、災害発生時の迅速な対応と被害最小化を目指します。

また、自主防災組織の強化、事業所のBCP計画の策定・推進など、地域の防災・減災力を高めるとともに、再生可能エネルギーや蓄電池の導入を促進し、エネルギーの地産地消や災害時にも電力やガス等のエネルギーが供給・消費できる地域づくりを目指します。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概 要	取 組
防災・減災力の向上	防災研修や各種訓練の実施により、自主防災会による「自助」「共助」の意識の高揚を図り、地域防災を担う人材を育成します。	
消防体制の強化	消防体制充実のため車両更新、資機材整備を実施するとともに職員の資質向上を図る等、消防力の強化に取り組みます。	高機能指令システムの更新事業 火災予防啓発事業
救急体制の整備	救急体制充実のため、メディカルコントロール体制を通じて、医療機関との連携を強化し、救急隊員の養成及び資質向上を図ります。 応急救護体制を充実させるため救急車の適正利用の啓発及び救命講習を実施します。	高機能指令システムの更新事業
エネルギーの有効活用と地産地消の推進	地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入や次世代型太陽電池の導入を推進し、脱炭素化を図ります。	再生可能エネルギー推進事業

効果的できめ細かな 情報発信の推進	伝える相手や内容によって複数の 広報媒体を適切に組み合わせ、見 やすさや分かりやすい表現を重視 して、効果的な広報を行います。	情報発信推進事業
----------------------	--	----------

プロジェクト2 暮らしを守るインフラの整備で、安全・安心なまちを実現する

急激な自然環境の変化や人口減少の加速化、高度成長期に整備したインフラの老朽化といった課題に直面する中、こうした現状を踏まえながらも、暮らしを日常から守り、万一の事態にも強く対応できる仕組みを整えます。

防災・減災と国土強靱化を軸とした安全基盤の強化やインフラの長寿命化と安全性の維持管理の徹底、移動と交通の安全・利便性を高める交通インフラの整備を行うことにより、未来につながる安全・安心のまちを目指します。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概 要	取 組
交通安全施設等の整備	通学路及び未就学児が集団で日常的に移動する経路等を中心に、反射鏡（カーブミラー）、区画線、道路照明灯等の整備を進めます。	交通安全施設整備事業
防災・減災基盤の強靱化	建築物の耐震化・減災化を進めるとともに、生活者視点から、避難所の環境改善を目指し、防災倉庫の設置や非常用食料等の防災資機材の整備に努めます。	事前都市復興事業 無電柱化推進事業
都市基盤整備の促進	富士宮駅周辺を中心に景観やユニバーサルデザインに配慮した、効果的な整備を進めます。	歩いて楽しめる市街地整備
安全・安心な道路ネットワークの確保	安全で快適な道路ネットワークを形成するため、都市計画道路の整備を進めます。	都市計画道路整備事業
広域幹線道路の整備促進	隣接自治体との主要な連絡道路となる国道 469 号（富士南麓道路）の整備促進、一般広域道路富士富士宮道路の建設促進を関係機関に強く働きかけます。	道路新設改良事業
交通ネットワークの充実	A I や情報通信技術を活用し、広い世代に配慮した利便性の高い交通システムを検討していきます。	生活交通確保対策事業

4つの取組を推進するための重点プロジェクト

効率的かつ効果的なマネジメントの推進	施設・設備の改修や修繕、長寿命化に向けた取組を計画的に実施する。	公共施設総合管理事業
--------------------	----------------------------------	------------

プロジェクト3 世代を超えて支え合い、地域が一体となって健康寿命を伸ばす

高齢化が進む現代において、若い世代と高齢世代が互いに学び合い、地域全体の力を結集して病気に対する予防と自立支援の強化を図り、健康寿命の延伸を目指します。

そのためには、日々の暮らしを支える仕組みづくりが重要であることから、世代を超えた支え合いの仕組みを地域の基盤として定着させ、地域包括ケアの連携強化を核に、病気を未然に防ぎ、機能低下を遅らせ、地域で支え合う循環を作る取組を強化します。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概要	取組
スポーツに親しむ環境づくりの推進	誰もが、一人ひとりの体力や好みに合わせて選択できるスポーツ教室やスポーツイベントの充実を図り、生涯にわたってスポーツに親しめる環境を整備します。	スポーツ交流事業
心と身体の健康づくりの推進	各世代の健康課題に対応した保健事業に取り組むとともに、心の健康づくりの推進のため、周知啓発と支援体制の整備に努めます。	健康診査事業
保健・健康維持の体制の強化	フレイルや要介護状態への移行を予防するため、高齢者自身による取組や地域活動への参加を支援するとともに、関係機関や団体と連携し介護予防事業に取り組みます。	介護予防事業
「地食健身」の推進	地場産品を活用した講座等を行うことで、生産者の想いを知り、地元食材への理解を深めるとともに地産地消を進めます。	

プロジェクト4 地域とともに、医療・福祉のネットワークを構築する

少子高齢化や医療・介護ニーズの多様化が進む中、医師・看護師・介護従事者だけでなく、行政、学校、企業、地域住民等が一体となって支え合う仕組みが求められていることから、こうした多様な主体が互いの専門性と地域資源を尊重し合い、情報と人材を適切に結ぶ医療・福祉のネットワークの構築を目指します。

また、地域の基幹病院である市立病院については、医療 DX の推進や高度医療機器の更新、かかりつけ医との連携強化等により、市民への安心を提供します。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概要	取組
地域医療体制の確保	医療機関及び関係団体等との連携を強化し、地域医療環境を守り、支えるための体制づくりに努めます。	
市立病院の医療環境の充実	地域の中核病院として急性期機能の高度化を図るため、施設及び最適な医療機器の整備を推進するとともに、病院DXの推進により職員の負担軽減及び患者サービスの向上を図ります。	市立病院の施設改修に向けた取組 病院情報システム更新及び病院DX推進 高度医療機器更新等整備事業
包括的な支援体制の構築	地域住民が世代を超えた地域づくりをできるようにするために、富士宮市社会福祉協議会と協力し、核地域における地区社会福祉協議会を支援します。	重層的支援体制整備事業
地域づくりを担う連携の推進	地域住民等が地域生活課題に関する相談を包括的に受け止め、情報提供や助言を行うとともに、必要に応じて支援関係機関につなぐことのできる体制の整備をします。	重層的支援体制整備事業

プロジェクト5 安心して住み慣れた地域で暮らし続けられる環境を創出する

全ての市民が住みたいと希望する場所で安心して生活を継続できるように、地域コミュニティの維持・強化をはじめとする人と人とがつながる地域づくりを推進します。

また、高齢者を敬い、地域全体で支え合う持続可能な生活環境を創出するため、買い物や移動手段を維持するとともに、元気な高齢者の活動を応援する取組を進めます。

さらに、行政手続のオンライン化や地域の実状を反映した行政サービスの提供を行うなど、そこに住む人たちの利便性やつながりを高めるためのデジタル技術の活用を推進します。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概要	取組
持続可能なコミュニティづくりの促進	幅広い世代が自治会活動に関わることを促進するとともに、地域活動の役割や必要性について市民に情報提供を行い、コミュニティ意識の高揚を図ります。	
多文化共生社会の醸成	外国人市民が地域の行事や活動に積極的に参加できる地域づくりを進めるため、やさしい日本語の普及啓発や日本語学習支援を充実させ、相互理解できる環境づくりを進めます。	多文化共生社会の推進事業
防犯対策の強化	市民の防犯活動に対する支援を継続し、関係機関と連携し地域が一体となって犯罪を防止する体制の強化を図ります。	防犯まちづくり推進事業
地域生活支援体制の充実	住民等の多様な主体が参画し、地域における高齢者等の困りごとをもとに、必要な支援の創出について協議します。	高齢者つながり・生きがい創出事業
持続可能な交通システムの推進	地域の実情に即した移動支援など、共創型の交通システムを推進します。	生活交通確保対策事業
地域特性を活かした集落環境の形成	郊外部における既存中心集落の拠点性向上や、集落環境の整備を進めるとともに、地域の特性を生かした定住推進などを支援します。	市街化調整区域空き店舗等利活用事業
DXによる市民サービスの向上	オンライン申請やオンライン手続をさらに進め手続きなどがデジタル完結する仕組みを整えます。	

■■■■■■■■ 成果指標（K P I） ■■■■■■■■

客観指標

指 標	基準年 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
自主防災組織による防災訓練実施率	70%	100%
道路・橋りょう施設長寿命化率 橋りょう長寿命化修繕化率 舗装長寿命化修繕化率 ※舗装個別施設計画に基づく長寿命化修繕化率	橋りょう 16.7% 舗装 0%	橋りょう 66.7% 舗装 23.4%
健康寿命（平均自立期間）（男性） （女性）	79.8年 84.4年	80.8年 85.3年
診療所等から市立病院への紹介率	78.6%	80.0%
する、みる、ささえるのいずれかの形でスポーツに親しんだ人の割合	アンケートで把握	アンケート後設定
日本語学習支援に関わる人数（日本語ボランティア数）	100人	220人

主観指標

指 標	基準年 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市は誰もが健康で安心して暮らせるまちであると思う人の割合	アンケートで把握	アンケート後設定

4 明るい未来を支える人づくり

幸福を実感できる明るい社会を目指し、未来を担う人材の育成や市外に住みながら継続的に地域に関わる人を創出するまちづくりに取り組みます。

■ ■ ■ ■ ■ ■ 主な取組 ■ ■ ■ ■ ■ ■

プロジェクト1 協働によるまちづくりで未来を拓く

市民や企業等が行政と対等なパートナーとして政策形成や施策実施、評価を共同で進めるなど、行政サービスに利用者のニーズを的確に反映させる取組を推進します。

市民協働を通して、市民一人ひとりが主体的に地域課題の解決や地域づくりに参画する仕組みを構築し、行政サービスの質の向上や透明性、説明責任の確保による持続可能なまちづくりを推進します。

(関連する主な取組)

具体的な施策	概要	取組
多様な主体との連携強化	行政課題の解決に向けて、国・県・市町村、企業、大学など多様な主体と広域的に連携強化を図ります。	富士山ネットワーク会議事業 富士地区広域行政連絡会事業
市民参画・市民協働の促進	市民の公益活動を促進し、市民活動の活性化を図るとともに、市民活動団体や様々な担い手との協働を進めます。 企業、大学など多様な主体との官民連携により、市民の満足度を向上させる取組を進めます。	NPO等市民活動促進事業 富士山SDGs推進事業
多様な市民活動への支援	多様な市民活動団体が互いに交流する機会を創出し、それぞれの団体の特性を生かした団体連携による活動や、新たに市民活動を始め市民や団体の活動を支援します。	市民活動応援事業

協働意識の醸成と人材育成	市民活動団体の活動を発信し、新たな活動を始めるきっかけづくりと共同意識の醸成に努めるとともに、市民活動の新たな担い手の育成を図ります。	NPO等市民活動促進事業 市民活動（まちづくり）人材育成事業
関係人口の創出・拡大	若者チャレンジ支援施設及び地域おこし協力隊制度を活用し、市街の若者世代を中心に関係人口の創出及び市民との交流につなげます、	地域間交流事業（若者チャレンジ支援施設運営、地域おこし協力隊の活用）

プロジェクト2 学びを力に、未来の担い手を育成する

グローバル化やデジタル化が急速に進展する中、市民の幅広い世代が、必要な知識・技能・価値観を身に付ける機会を増やし、地域社会に積極的に参画できる人材を育成します。

次代を担う子どもたちや若者に対して、多彩な学びと経験の機会を提供し、自立心や創造性、協調性など社会で必要とされる資質・能力を育むとともに、全ての市民に対して、生涯学習や地域活動への参加促進を通じて、市民全体が主体的に地域づくりに関わる風土を醸成し、「未来の富士宮市の担い手」の育成を進めます。

（関連する主な取組）

具体的な施策	概要	取組
グローバル人材の育成	国際社会における積極性やコミュニケーション能力を高め、グローバル社会に対応できる人材の育成を図ります。	中高生の海外派遣事業 都市交流事業
確かな学力を育む教育の推進	確かな学力が育つ授業の充実を図るとともに、学校教育活動全体を通じて、人間関係を築き、徳のある人間性とたくましい体を育てる環境づくりを推進します。	富士山学習の推進
誰もが学びあえる学習活動の推進	生涯学習活動の啓発や相談・支援を行うとともに、ICTの活用など多様な学習機会の提供や情報発信を行います。	魅力的な生涯学習メニューの提供や学びあいの推進 地区公民館事業 読書と読み聞かせ推進事業
効率的かつ効果的なマネジメントの推進	限られた人員で行政課題に対応するため、時代に応じた効率的な組織を整備するとともに、職員の質の向上を図ります。	

4つの取組を推進するための重点プロジェクト

D Xによるスマート行政の推進	職員の保有データ取り扱いのリテラシー向上を進め、セキュアなデータ運用や連携による情報共有をすすめる、効率的な業務運用を目指します。	
-----------------	---	--

プロジェクト3 富士宮市の応援団を増やし、共に明るい未来を創る

富士山をはじめとする豊かな自然環境や歴史・文化資源など、本市が持つ魅力的な資源を最大限に活用して、ふるさとである富士宮市に愛着を持つ人や富士宮市に魅力を感じる人など、市外に在住する富士宮市の応援団（関係人口）との共創によるまちづくりを推進します。

また、本市だけでは解決が困難な課題などに対して、国や県、近隣市町村、民間企業等との市域を超えた広域的な連携を進め、その解決に取り組めます。

（関連する主な取組）

具体的な施策	概要	取組
多様な主体との連携強化	行政課題の解決に向けて、国・県・市町村、企業、大学など多様な主体と広域的に連携強化を図ります。	富士山ネットワーク会議事業 富士地区広域行政連絡会事業
戦略的なシティプロモーションの推進	市が持つ様々な魅力を市内外に広く発信し、市のイメージアップを図ります。	情報発信推進事業 ホームページ発信事業
移住・定住の促進	シティセールスの一環として移住定住プロモーションを地域や民間企業などと連携し、効果的に展開するとともに、移住希望者のニーズにあった支援に取り組めます。	移住・定住支援事業 シティセールス事業
関係人口の創出・拡大	ふるさと納税制度及びデジタル技術を活用し「関係人口」の創出に取り組むとともに、シティセールスを推進します。	ふじのみや寄附金事業 シティセールス事業

プロジェクト4 多様性を尊重し、誰もが輝く未来を創る

多様性を尊重しながら、個性や能力を最大限に発揮させる取組を進めることにより、性別・年齢・障がいの有無・国籍などに関係なく、一人ひとりが自分の力を最大限に発揮できる社会の構築を目指します。

また、社会全体のウェル・ビーイングを高め、持続可能性と公正さを両立させつつ、国際的な視点を取り入れた世界に誇る魅力ある地域づくりを進めます。

具体的な施策	概要	取組
多様性についての理解の促進	性別、世代、障がいの有無等に関わらず、誰もが安心して暮らせるまちをつくるとともに、ジェンダーギャップ解消に向けた意識改革により、男女共同参画社会を実現する基盤を作ります。	男女共同参画推進事業
人権の尊重・非核平和の推進	市民一人ひとりが人権への理解を深め、互いの人権を尊重し合えるよう、人権の啓発を推進するとともに、平和に対する市民の意識向上を図ります。	被爆地への中学生派遣事業
多文化共生社会の醸成	外国人市民が地域の行事や活動に積極的に参加できる地域づくりを進めるため、相互理解できる環境づくりを進めます。	多文化共生社会の推進事業 国際理解推進事業 多言語対応の充実
地域福祉意識の向上	富士宮市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会を通して、地域福祉意識の啓発を図ります。	

■■■■■■ 成果指標（K P I） ■■■■■■

客観指標

指 標	基準年 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
関係人口創出数	10,992人	16,000人
富士宮市公式SNSの登録者数	54,696人	84,000人
移住相談窓口を利用した県外からの移住者数（累計）	134人	750人
包括連携協定締結数	19件	29件
市主催の生涯学習講座を受講した人の割合	17.9%	21.5%

主観指標

指 標	基準年 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市では、将来の地域を支える人材が育っていると思う人の割合	アンケートで把握	アンケート後設定